|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 開催案内 | 議事録 | 連絡書 | 発行日：2014, ０８,０４ |
| 作成者：事務局　大久保正機 |
| **件名** | **自主防災隊　第３回「非常時体制検討チーム」** |
| 配布先 | 本部：長谷川さん、中泉さん各代表支隊長、青パト機動隊代表事務局：林さん、宇津木さん |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|

|  |
| --- |
| Ⅰ．開催日時：２０１４年８月２日、１０：００～１２：００開催場所：小川会館司　　会：窪田リーダー |
|  |
| Ⅱ．出席者　：本部： せんげん支隊：窪田さん　　　下小川支隊：長さんかえで支隊：甲斐さん、　　　蜂谷戸支隊：小林（勝）さん柳谷戸支隊：小林（洋）さん　青パト隊：勝又さん　　　　　　　事務局：林さん、宇津木さん、大久保　計９名 |

 |
| Ⅲ.議題と結果　１．震度６弱の大地震が発生した時の被害想定 （１）前回報告した被害想定について確認今後数字が動く可能性はあるものの、現時点においてはこの被害想定を前提に　　検討を進めることとする。（２）窪田リーダーより次の２点の要請あり　　① 避難場所の運営マニュアル作成を急いでほしい（別途検討） ② 要援護者の把握と援護体制確立のために、各支隊でアンケートを実施いただきたい。（３）事務局より、被害想定の精度を上げるため、被害想定の基になっている非自治会員所帯数及び建物棟数が分かり次第、事務局大久保迄連絡いただくよう依頼。　２．当面の重要検討項目の洗い出し　　　今回は、検討項目の１から５まで討議。６以降は次回以降検討することとする。1. 非自治会員への対応

・非常時には、延焼防止や人道的見地から差別を行なうことは現実的に困難。・但し、「会員と全く同じ支援を行うのも不公平」との意見も多数出された。・その為、自治会員への加入促進を行なうことが重要との認識で一致。賃貸アパート入居者の加入はなかなか難しいため、戸建ての非会員への加入を特に促進すべきとの意見が出された。1. 非常時対応の範囲（震度、時系列、時間帯、天候、季節他）

・「非常時」の基準は、震度「５強以上」とする。・様々なケースを全て想定するのは困難なため、「平日昼」と「夜間悪天候」の　２つのケースを想定することする。　1. 震度の判断は？

・非常時には正確な震度の把握は困難なため、具体的には「東日本大震災の時（震度５弱）より強い揺れを感じた時」と表現する。・また、震度５強の際に起きる現象について、一層の徹底を図る。1. 対策本部の設置（本部の役割、人員）

・本部の役割は、時系列で変化する。直後は支隊が中心であり、本部の役割は少ない。　　　　　・本部の基本的な役割は、「全体状況の把握」と「市等外部との折衝」　　　　　・従って、震災直後の本部人員は現本部人員で良いのでは？　　　　　　直後の緊急対応が終わった段階で人員を補強すればよい。　　　　　・支隊との連絡、全体への広報、負傷者の搬送等で青パト隊は貴重。1. 安否確認の方法

・窪田リーダーが「安否確認・被害状況等リスト」について説明、今後更に検　討することとする。・広報情報専門班会議でも次回の検討項目となっている ３．非常時体制たたき台 （１）窪田リーダーより、事前配布のたたき台（震度５強の場合）について説明。　　　討議の結果、原案通り承認。　　　震度６弱の場合については別途検討することとする。 ４．次回日程 ８月２３日（土）　　午前10時～　　　　　小川会館１階にて　以上 |